



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月12日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 キトー

コード番号 6409 URL <http://kito.com/jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 鬼頭 芳雄

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営管理本部長

(氏名) 遅澤 茂樹

TEL 03-5908-0161

四半期報告書提出予定日 平成28年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	10,323	△14.8	561	4.2	229	△45.0	270	56.8
28年3月期第1四半期	12,122	43.8	538	92.2	418	84.9	172	149.7

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 △956百万円 (—%) 28年3月期第1四半期 345百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	10.31	10.29
28年3月期第1四半期	6.58	6.55

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第1四半期	57,297	24,664	41.4
28年3月期	60,639	26,040	41.2

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 23,736百万円 28年3月期 25,011百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	14.00	—	14.00	28.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	14.00	—	14.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
第2四半期(累計)	22,700	△12.0	1,250	△16.9	1,100	△7.9	450	△20.8
通期	53,000	△5.1	4,300	△17.7	4,000	△12.6	2,400	△3.9

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1社 (社名) Scaw Metals Pty. Ltd. 、除外 1社 (社名)
(注)詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動をご覧ください。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期1Q	27,048,200 株	28年3月期	27,048,200 株
② 期末自己株式数	29年3月期1Q	787,016 株	28年3月期	787,016 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期1Q	26,261,184 株	28年3月期1Q	26,246,184 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 3
(4) 追加情報	P. 3
3. 四半期連結財務諸表	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	P. 6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	P. 7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
(セグメント情報等)	P. 9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間においては、全般的に、不安定な欧州情勢、資源価格の下落等に加え、テロなどの地政学的なリスクが世界経済に及ぼす影響等の懸念材料により先行きの警戒感も拡大しました。国内はインフラ投資関連の需要が堅調に推移し、緩やかな拡大基調となるものの、円高の進行により、景気の先行きに不透明感が高まりました。米国では、個人消費や住宅投資による下支えもあり潜在的な需要はあるものの、エネルギー・資源関連需要の低迷の影響から企業の設備投資の先送りが見られました。資源価格の下落や、中国経済の減速が継続し、アジア新興国の経済成長に鈍化が見られました。

このような環境の下、当社グループにおいては新中期経営計画5か年の初年度として、その基礎を固めるべく、全社員に向け、新中期経営計画の浸透を図り、新しい組織体制を定着させ、既存事業の生産性、効率の最大化に向けた施策を実行してまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の連結売上高は、円高による減収影響もあり10,323百万円（前年同期比14.8%減）となりました。利益につきましては、コスト削減などにより連結営業利益は561百万円（前年同期比4.2%増）となりました。連結経常利益は、為替差損の計上などにより229百万円（前年同期比45.0%減）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は270百万円（前年同期比56.8%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。当社グループは、当社及び連結子会社の所在地別セグメント区分で事業活動を展開しております。

セグメントの名称	売上高(前年同期比)	営業損益(前年同期比)
日本	5,609百万円 (7.8%減)	1,140百万円 (14.2%減)
米州	5,259百万円 (14.1%減)	10百万円 (前年同期は11百万円の営業損失)
中国	1,289百万円 (35.9%減)	149百万円 (31.7%減)
アジア	628百万円 (30.2%減)	△107百万円 (前年同期は163百万円の営業損失)
欧州	283百万円 (24.3%減)	△18百万円 (前年同期は9百万円の営業利益)

(日本)

売上高は、国内ではインフラ関連需要の押上げ効果を捉え、堅調に推移したものの、海外在庫削減への取り組みに加え、為替の影響もあり、前年同期に比べて7.8%減の5,609百万円となりました。営業利益は前年同期に比べて14.2%減の1,140百万円となりました。

(米州)

米国では、エネルギー産業の投資需要の低迷が継続し、企業の設備投資の先送りがみられました。米州全体の売上高は、円高の進行により日本円で5,259百万円（前年同期比14.1%減）となりました。営業利益は、事業の効率化とブラジル事業の伸長などにより10百万円（前年同期は営業損失11百万円）となりました。

(中国)

経済の減速を受けて需要が全般的に低調に推移し、売上高は1,289百万円（前年同期比35.9%減）、営業利益は149百万円（前年同期比31.7%減）となりました。コスト削減による利益改善策を継続し、営業利益率は維持しております。

(アジア)

中国の景気減速の影響を受けて、地域経済の成長鈍化とともに投資需要が減退するなか、売上高は628百万円（前年同期比30.2%減）となりました。利益面では収益の改善策を図った結果、107百万円の営業損失（前年同期は163百万円の営業損失）となりました。

(欧州)

原油価格の動向や不安定な欧州情勢等、不透明感が増すなか、売上高は283百万円（前年同期比24.3%減）、営業損失は18百万円（前年同期は9百万円の営業利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

資産合計は57,297百万円と前連結会計年度末に対し3,342百万円減少いたしました。これは、受取手形及び売掛金の減少3,054百万円、のれんの減少323百万円等によるものです。

② 負債

負債合計は32,633百万円と前連結会計年度末に対し1,966百万円減少いたしました。これは、未払費用の減少909百万円、長期借入金の減少1,116百万円等によるものです。

③ 純資産

純資産合計は24,664百万円と前連結会計年度末に対し1,376百万円減少いたしました。これは、利益剰余金の減少97百万円、為替換算調整勘定の減少1,211百万円等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の第2四半期累計期間および通期の連結業績予想につきましては、平成28年5月13日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第1四半期連結累計期間において、Scaw Metals Pty. Ltd. (平成28年7月27日付で「Kito Australia Pty. Ltd.」に商号変更)の全株式を取得したため、同社を連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,529	8,516
受取手形及び売掛金	11,761	8,706
商品及び製品	10,735	11,376
仕掛品	1,599	2,518
原材料及び貯蔵品	1,517	1,298
その他	3,522	2,755
貸倒引当金	△66	△61
流動資産合計	37,599	35,110
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,668	4,614
機械装置及び運搬具(純額)	4,861	4,616
その他(純額)	2,370	2,337
有形固定資産合計	11,901	11,568
無形固定資産		
のれん	2,901	2,577
その他	4,995	4,849
無形固定資産合計	7,896	7,427
投資その他の資産		
投資有価証券	1,337	1,337
繰延税金資産	641	647
その他	1,263	1,205
投資その他の資産合計	3,242	3,191
固定資産合計	23,040	22,186
資産合計	60,639	57,297

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,301	5,818
短期借入金	4,595	4,504
未払費用	2,757	1,847
未払法人税等	644	104
引当金	833	379
その他	939	1,775
流動負債合計	15,072	14,430
固定負債		
長期借入金	14,687	13,571
役員退職慰労引当金	177	182
退職給付に係る負債	2,664	2,590
その他	1,997	1,859
固定負債合計	19,527	18,203
負債合計	34,599	32,633
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,976	3,976
資本剰余金	5,226	5,226
利益剰余金	15,279	15,182
自己株式	△354	△354
株主資本合計	24,128	24,031
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	0	0
繰延ヘッジ損益	△132	△162
為替換算調整勘定	1,512	301
退職給付に係る調整累計額	△496	△433
その他の包括利益累計額合計	883	△294
新株予約権	36	39
非支配株主持分	991	888
純資産合計	26,040	24,664
負債純資産合計	60,639	57,297

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	12,122	10,323
売上原価	7,809	6,334
売上総利益	4,313	3,988
販売費及び一般管理費	3,774	3,427
営業利益	538	561
営業外収益		
債務時効益	—	20
為替差益	10	—
その他	51	36
営業外収益合計	61	57
営業外費用		
支払利息	137	99
為替差損	—	233
その他	45	55
営業外費用合計	182	388
経常利益	418	229
特別利益		
負ののれん発生益	—	489
特別利益合計	—	489
税金等調整前四半期純利益	418	719
法人税等	239	450
四半期純利益	178	268
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	5	△1
親会社株主に帰属する四半期純利益	172	270

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
四半期純利益	178	268
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	0
繰延ヘッジ損益	66	△29
為替換算調整勘定	112	△1,260
退職給付に係る調整額	△12	64
その他の包括利益合計	166	△1,225
四半期包括利益	345	△956
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	337	△907
非支配株主に係る四半期包括利益	8	△49

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					合計	調整額 (注)1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)2
	日本	米州	中国	アジア	欧州			
売上高								
外部顧客への売上高	2,806	6,114	1,926	900	375	12,122	—	12,122
セグメント間の 内部売上高又は振替高	3,280	6	85	—	—	3,373	△3,373	—
計	6,087	6,121	2,011	900	375	15,496	△3,373	12,122
セグメント利益 又はセグメント損失(△)	1,329	△11	218	△163	9	1,381	△843	538

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△843百万円には、セグメント間取引消去△284百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△558百万円が含まれております。全社費用は、主に親会社の総務部門、経理部門及び経営企画部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						合計	調整額 (注)1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)2
	日本	米州	中国	アジア	欧州	その他			
売上高									
外部顧客への売上高	2,965	5,246	1,199	628	283	—	10,323	—	10,323
セグメント間の 内部売上高又は振替高	2,643	12	89	—	—	—	2,746	△2,746	—
計	5,609	5,259	1,289	628	283	—	13,070	△2,746	10,323
セグメント利益 又はセグメント損失(△)	1,140	10	149	△107	△18	—	1,174	△613	561

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△613百万円には、セグメント間取引消去16百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△629百万円が含まれております。全社費用は、主に親会社の総務部門、経理部門及び経営企画部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

当第1四半期連結会計期間において、Scaw Metals Pty.Ltd.の全株式を取得したことにより、負ののれん発生益489百万円を計上しております。なお、当該負ののれん発生益は報告セグメントには配分しておりません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、Scaw Metals Pty. Ltd.の全株式を取得し、同社及びその子会社2社を連結の範囲に含めたことにより、「その他」を報告セグメントに追加しております。なお、当第1四半期連結累計期間においては貸借対照表のみを連結しており、四半期連結損益書に被取得企業の業績は含まれておりません。そのため、当第1四半期連結累計期間の報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額は「—」としております。